

平成29年度第3回市政モニター会議会議録

日時 平成29年11月21日(火)

午後2時～3時45分

場所 市役所7階第1委員会室

1. 教育行政・児童福祉行政について（説明者 教育こども未来部長）

2. 懇談（要旨）

【モニター】少子化対策として現在ある公共施設を保育や教育に活用していく計画はあるか。

【教育こども未来部長】岩倉市では、生徒数の減少により余裕教室が出てきているところがある。東小学校や南小学校では余裕教室を利用した放課後児童クラブ（学童保育）を平成28年度から実施するようになった。また、岩倉市の公共施設再配置計画の中で、学校施設の長寿命化についても検討をはじめている。学校や保育園がこのままの数・規模を維持し続けるのは難しいため、将来的には複合化を視野に入れて考えていきたい。

【モニター】空き教室を民間に貸し出して収入を得ることも検討するべきだと思う。

【教育こども未来部長】まずは子どもの教育環境の充実が第一だと考えている。そのうえで、地域の人たちへの開放や民間への貸し出しも有用な手段だと思う。

【モニター】公共施設の維持管理には財政的にも大きな負担となる。

【教育こども未来部長】公共施設総合管理計画の中では、延べ床面積を13%減らすという方針を出している。公共施設全体の延べ床面積のうち、学校施設が約50%、教育こども未来部の所管する施設が約70%に及ぶ。2つのものを1つにするなど統廃合する必要があるかもしれない。

【モニター】学校の耐震はもう終わっているか。

【教育こども未来部長】曾野小学校のみ耐震指標となるIS値の基準を満たしていなかったため、現在工事をしており、まもなく終了する予定。

【モニター】アスベストに関してはどうか。

【教育こども未来部長】これまではなかったが、環境省から新しい指針が出され、塗料についても調査する必要が出てきた。旧学校給食センターを取り壊す前に調査を実施する。

【モニター】少子高齢化が進むと、ますます経費が増えていくことになる。岩倉の中でさまざまなボランティア活動をする人たちがいる。そういう人たちと市が積極的に連携して少子化に対応していくべきだと思う。

【教育こども未来部長】市民活動団体の方々には本当にさまざまな面で助けられている。これまで以上に市民との協働を意識していきたいと思う。

【モニター】子育て支援センターを利用している人に話を聞き、「子育て支援センターの本がぼろぼろになっている。」、「市民プラザには駐車場が少ない。名古屋や岐阜ナンバーの車が停まっていることがある。」、「岩倉にきて住みやすい。」という意見が出た。

【教育こども未来部長】本については一度現状を確認する。市民プラザの駐車場については、駅が近いこともあって通勤に利用されている可能性がある。紙を貼ったりして対応しているが、駐車場は市全体の問題でもあるので、すぐに改善することは難しい。また、定住については、市内から市内へ転居される人が多く、住みやすいと感じてもらっていると実感している。大切なのは人とのつながりで、つながりをつくることができれば、市外転出の防止になる。

【モニター】安心して遊べる公園がない。児童遊園では、草が伸びていたり、簡易トイレしか設置されていなかったりする。

【モニター】児童遊園の剪定をシルバー人材センターに頼んでいると思うが、ごみが捨てられていることが多く、大変という話を聞いた。市の職員にもその現状を見てほしい。

【教育こども未来部長】児童遊園は職員が見回っているが、毎日全部を見回れていないのが正直なところである。また、トイレの清掃をしらゆりの会や地元をお願いしている。

【モニター】しらゆりの会へは市が依頼しているのか。

【教育こども未来部長】市内では8箇所をしらゆりの会に依頼し、それ以外は地元から市からお金を出して依頼している。トイレの掃除を週に2回、月に10回程行ってもらっている。

【モニター】児童遊園は仮設トイレが多いが、地主から許可をもらえば、トイレを建てられるのか。

【教育こども未来部長】児童遊園は借地がほとんどでトイレ等の建物はつくらない。北島児童遊園も借地だが、トイレを建てた。なので、建てられないことはない。

【モニター】通学路の見守り隊を行っているが、交通整理をする際に事故が起きないようにビブスを着用したほうがよいが、市からそのお金が出ることはない。ボランティアで活動している人なので支給してもよいのでは。

【事務局】危機管理課から防犯用として貸与している。

【モニター】工事をしているような見た目なので女性が着るのには抵抗がある。

【モニター】おでかけひよこ広場は活用されているか。

【教育こども未来部長】利用者はけっこういる。

【モニター】児童館の午前中は子どもたちが来ないので、未就学児が利用できるような方法があれば。

【モニター】子どもたちとその母親たちを対象にした幼児クラブというものをすでに実施

している。また、それ以外の時間でも児童館の先生も会議など忙しかったりする
ので難しいと思う。

【モニター】送迎保育ステーションはどのくらい利用者がいるのか。

【教育こども未来部長】12人の利用者がいる。

【モニター】岩倉市に待機児童はいるのか。

【教育こども未来部長】今年度は2人いる。いずれも1歳児。1歳児は保育士ひとり当たりで見られ
る子どもの数が少ないので、保育士不足になることがある。

【モニター】送迎保育ステーションは費用面から見て効率が悪いと思う。もう一度見直し
てほしい。

【モニター】岩倉市にいじめはあるのか。

【教育こども未来部長】ないとは言い切れない。どこまでがいじめと捉えるかにもよる。学校も最低
年2回は子どもと先生とで面接の時間を設けてアンケートをとっている。子どもと
関わる地域の方々も何か気づいたことがあればすぐに連絡してほしい。

【モニター】登校拒否になる子が多いという話も聞く。

【モニター】小学校や中学校で不登校になっている生徒はどのくらいいるのか。

【教育こども未来部長】年間30日以上休んだ生徒を不登校と定義しているが、平成28年度は小学校
では28人、中学校では63人いた。

【モニター】その数は他の自治体と比べて多いのか少ないのか。

【教育こども未来部長】多くはない。ただ、岩倉で見ると増えてきている。

【モニター】東小学校は外国籍の人も多く、言葉の問題がある。その数は外国籍の人も含
めての数か。

【教育こども未来部長】外国籍の人も含めての数である。東小学校は5割以上が外国籍の人になっ
ており、日本語やポルトガル語の指導もしているため、東小学校が極端に不登校の生
徒が多いというわけではない。

【モニター】岩倉で不登校の生徒が過去に比べて増えているということだが、全国と比べ
てその増え方が多いか少ないか分かるような数字はないか。

【教育こども未来部長】確認して後日回答させていただく。

以上

3. その他

特になし。